

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

2022 年 8 月 31 日

犬 山 市 議 会

議 長

様

三浦知里

議員名 岡村千里

第64回
下記のとおり、自治体学校^本in松の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2022年 7 月 23 日(土) ~ 2022年 7 月 25 日(月) (2 泊 3 日)
(2) 場 所	長野県松本市勤労者福祉センター
(3) 形 態	会派 (^{日本共産党} 犬山市議会団) : その他 ()
(4) 内 容	分科会3「公立保育所民営化、統廃合にどう対応するか」 講師:中山 徹 奈良女子大教授。 ①少子化は急激に進み、コロナ禍で予想よりも10年早く進んでいる。2025年までに、保育所利用者が減少すること「2025年問題」という。 ②公立保育園の役割は、地域における保育の質、量に責任をもち、ことにより、その地域の標準的な保育水準を意味する。 ③保育園利用者の減少に対しては、統廃合ではなく、最低基準や面積要件の改善を図るべきである。
(5) 成果・提言	2013年から待機児童解消が進められ、2015年には、子ども子育て支援制度が始まり、2019年から教育・保育無償化が始まった。この間、保育園の民営化が進んできたが、一定数の公立保育園は必要である。 <提言> 1. コロナ禍で(第2波)感染者が急激に増加し先が見通せない中で、保育園の民営化や統廃合は一旦立ち止まるべきである。 2. 保育園の統廃合は、子育て環境を悪化させるため、さらに子どもの数は減っていく。 3. 子どもの数が減っても、定員を減らす、最低基準や面積基準を改善すれば、運営費は現状で保障される。保育園を維持していくことが大切である。



(条例) 様式第2 (第9条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

2022 年 8 月 31 日

犬 山 市 議 会

議 長

三浦知里

様

議員名

岡村千里

下記のとおり、^{第64回自治体学校}
山松本の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2022年 7 月 23 日(土) ~ 2022年 7 月 25 日(月) (2 泊 3 日)
(2) 場 所	長野県松本市キッセイ文化ホール
(3) 形 態	会派 (^{日本共産党} 犬山市議会) : その他 ()
(4) 内 容	特別講演「地球環境の危機と地方自治」 宮本 憲一 (大阪市立大学名誉教授) 人類は戦後最大の危機の時代を迎えている。地球の温暖化、2019 年末から新型コロナによるパンデミック、2022年4月~ロシアのウクライナ侵略 この3つを三大危機といい、相互に関係している。また、危機の原因は資本主義 の新自由主義である。危機の対策のために大きな役割を果たしたのは地方自治体 である。SDGsの中で、平和と気候変動が国際的に一致が難しく対応が遅れて いる。温暖化防止の決め手は再生エネルギーを100%にする努力である。積極的な住 民学習と運動が求められている。
(5) 成果・提言	・地球環境の限界が世界の問題となったのは、1960年代の末期であ る。日本では水俣病などの深刻な環境破壊があった。 ・1972年、国連は人間環境会議をストックホルムで開催した。その 後20年間は停滞。1992年ブラジルの環境会議が開催。 2015年にSDGsを提示した。地球温暖化、貧困の問題が遅れて いる <提言> 1. 地方自治こそ地球環境を守る力がある。自治体職員が住民 の運動と共同するには、温暖化問題についての専門能力が必要だ。 2. 地方公務員が国の行政を先取りし、政策を示して進めなければ ならない時代になっている。